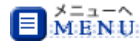




長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120561002001	科目番号	05610020
授業科目名	●コンピュータ入門		
編集担当教員	野崎 剛一		
授業担当教員名(科目責任者)	野崎 剛一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	野崎 剛一		
科目分類	情報処理科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	全学部2年,3年,4年		
担当教員Eメールアドレス	nozaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター2階		
担当教員TEL	095-819-2217		
担当教員オフィスアワー	火曜日16:00~17:00, 在室時は随時		
授業のねらい	コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。情報社会を支えるコンピュータは多様な目的に使われているが、そこには共通な情報処理の原理があり、それに基づいて色々な応用目的に利用されている。 コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや動作原理、デジタルデータ処理の基本手法や情報通信技術の基礎知識について理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	コンピュータの入力、記憶、演算、制御、出力の各機能の仕組み、基本ソフトウェアとアプリケーションプログラムの動作原理及びデジタルデータの表現方法などの基礎知識について講義を行う。また、コンピュータ内での情報の表現、OS、アプリケーションプログラム等の理解を深めるために、Windows/パソコンを使って様々なデータ処理、プログラミング等の演習も行う。		
授業到達目標	情報社会を積極的に生きるために必要な情報通信技術の基礎的な動作原理を理解することを目標とする。 コンピュータの基本的な原理や特性を正しく理解することにより、コンピュータはどのような時に役立ち、どのようなことが苦手かという見当がつくようになり、今後の専門課程の教育・研究にも役立ち、応用できる基礎概念を身につける。		
授業内容	原則として下表に沿って進めるが、授業の進捗や理解度の状況によって、若干の変更があり得る。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理	
	2	情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量	
	3	デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など	
	4	オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理、ジョブ管理など	
	5	アルゴリズムとプログラム プログラムの動作原理、WindowsOS上で利用できるフリーのプログラミングツール	
	6	プログラミング入門(1):入力、出力、演算、繰り返し、条件判断	
	7	プログラミング入門(2):アルゴリズム	
	8	プログラミング演習、デバッグ ゲームプログラム(ブロック崩し)例題プログラムを実行、手直し	
	9	様々なデータ処理、デジタル信号処理、デジタル画像処理	
	10	コンピュータネットワークの仕組みとその利用、WWW、電子メール、ファイル転送など	
	11	様々なアプリケーションソフト、オープンソースソフトウェア、フリーソフトの活用、著作権	

	12	データをどのように記憶しているのか, 情報システムの管理と保守
	13	情報化社会とコンピュータ, 情報セキュリティ, 暗号について
	14	コンピュータの構成部品, パソコンの内部を見よう(コンピュータの解体と組み立て), 基本論理回路
	15	コンピュータの歴史, 情報通信技術の進歩, 総まとめ
	16	定期試験
キーワード	コンピュータ, 情報通信技術, ネットワーク, 電子計算機, ハードウェア, ソフトウェア, 情報処理	
教科書・教材・参考書	プリントを必要に応じて配布する。 WebClassの「コンピュータ入門」を必ず参照すること。 https://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/	
成績評価の方法・基準等	期末試験80点, レポート等20点 出席点はない。	
受講要件(履修条件)	学習意欲	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.